



第130回中日楯争奪平成29年度春季愛知県新人バドミントン大会

4月2、9、16日の3日間にわたって4会場、延べ727名の参加者を得て熱戦が繰り広げられた。最終日は緑スポーツセンターで各種目のベスト8が優勝を目指した。

男子シングルス 鶴田久幸(三好BC)が戦わずして勝利 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

丹羽諒 (OhMyGut) との準々決勝、第2ゲームの延長を23-21で勝利し、続く小瀬広晃 (RiseBC) との準決勝は、逆に第1ゲームを20-22で落とす接戦となったが、一転して第2ゲーム途中で小瀬が棄権し勝利すると、なんと！決勝戦も対戦相手の鈴木浩城 (個人登録) が棄権。あっけない幕切れとなった。「若い頃から何度となく参加してきた大会。今日も年季と粘りでどこ迄やれるのかなと考えていた。週に2日、ランニングや筋トレを続けながらここまで怪我なくきたが、まさか優勝できるとは…卒業できてほっとしている。一緒に練習している地域の子供達の励みになりそう」と鶴田は嬉しそうに語ってくれた。彼のやさしさが伝わってくるとともに、地道な努力が報われた時となった。



鶴田久幸 選手

男子ダブルス 城川雄紀(兄)・航輝(弟)が接戦を制す ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



城川雄紀 (右)・城川航輝 組

1回戦、4回戦で接戦を制し勝ち上がってきた城川兄弟 (はりーあっぷ)。この日も準決勝、決勝で3ゲームを戦った末、優勝を手繰り寄せた。対する跡治翔 (MUSCLE CLUB)・辻野颯 (個人登録) も同様に3試合ともファイナルゲーム。だが決勝はゲームカウントやスコアが与える印象とは違い、互いに相手のミスで得点を重ねる淡白なゲームとなった。もちろん、「弟にチャンスボールとなるよう配球した」と兄が語るように兄弟ならではの連携プレーが随所にあった。

女子シングルス ヤングパワー対決を制したのは秋間咲緒里(佐織西中) ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

ベスト8は中学生4人、高校生4人。まさにヤングパワー対決。どの選手もよく鍛えられているので全試合接戦で長いラリーの応酬、簡単には決まらない。特に優勝した秋間はこの日決勝を含む3試合で7ゲームを戦い、1ゲーム当たりの平均得点19.9点、平均失点が17.7点と大接戦ばかり。決勝は小山香音 (名東高) と対戦。2ゲームとも点差が広がることのない接戦を勝ち抜いた。秋間はあどけない顔立ちだが、リードされても凛としてポーカーフェイスで淡々と試合をする。よほど勝気でまた精神的な強さを持っているのだろう。



秋間咲緒里 選手

女子ダブルス 社会人の永田・藤野組に軍配！ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

永田奈智加 (CACTUS) と藤野由利江 (さおりBC) は決勝まで全て2-0で勝ち上がってきた。一方の辻結菜 (名古屋大)・大野文菜 (中部大) は4回戦を2-1の大接戦 (ポイントでは対戦相手が勝る) で制して決勝に駒を進めてきた。決勝は永田・藤野組が終始リードし、21-9、21-10と危なげなく勝った。



永田奈智加 (右)・藤野由利江 組

年長の永田は「前衛で藤野が決められるように意識し、配球した」というが、実際に藤野がスマッシュやプッシュを決めたのはそれほど多くはない。男子ダブルスと同様、得点の半分以上を相手のミスで獲得しており、淡々と試合が進み、あっけなく勝敗が決まった。永田は今まで藤野とは一緒に練習する機会が殆どなかったが、この春さおりBCに移籍、心機一転、社会人クラブの個人戦に出たいという。今後に期待したい。(広報 岩田 崇)

特集 明日へ駆ける

第71回愛知県高等学校総合体育大会

学校対抗戦男子は名経大市邨、女子は岡崎城西が頂点に

各支部予選を勝ち抜いた選手たちによる愛知県大会が5月20、21、27日の3日間にわたり開催された。

初日に守山SCで行われた団体戦、決勝戦の組み合わせは男女ともに今年も名経大市邨、岡崎城西の組み合わせとなった。2面展開で始まった男子決勝、1複は1ゲーム目を城西片平・阿部組が取るが2ゲーム目を市邨村瀬・酒井組が取り返し、一進一退の攻防となった3ゲーム目を市邨が粘り取る。2複は市邨夏目・青山組が城西久高・國分組をストレートで下す。2年生対決となった1単は市邨中林と城西梅田がファイナルまでもつれる接戦となるが、その間に2単の市邨夏目が城西片平を難なく下し1単の結果を待たずに2年ぶりの優勝を決めた。市邨主将酒井選手は「気持ちを一つにして心技一体の精神で戦い抜けたことが勝利につながった」と試合を振り返った。



【男子団体決勝 市邨VS岡崎城西】



【女子団体優勝 岡崎城西】

女子は決勝まで1ゲームも落とさずに上がってきた市邨、1複の清田・塩飽組、2複の酒井・岸本組が共に1ゲーム目を難なくとり、そのままの勢いで行くかと思われたが、それぞれ城西の宇佐見・井本組、片山・池田組が粘りを見せ2ゲーム目を取り返しファイナルに入る。結果1複を城西、2複を市邨が取る。1単は市邨舟橋、城西縣の1年生対決となるが、ここは縣が2-1で勝利を収める。2単で城西宇佐見が市邨酒井との一歩も譲らぬ接戦を征しチームの勝利を決めた。城西は選抜こそ県トップの座を市邨に譲ったが、総体は2年連続で県代表として出場を果たした。城西主将宇佐見は「全国ベスト8に入れるよう精一杯頑張ってきます」と力強く語った。

21日はダブルス個人戦が千種SCで行われた。男子はベスト8に市邨が6組残り、団体戦王者の貫禄を見せた。女子も市邨がベスト4に3組が入り、前日の団体の悔しさを晴らす格好となった。28日のシングルス個人戦では、特に女子において低学年の選手の活躍が目立った。

なお、男女それぞれ団体は上位1校、個人戦は上位2名(組)が8月に山形で行われるインターハイに出場する。県勢の活躍を期待したい。(広報 大村悠介)

	男子団体	女子団体	男子複	女子複	男子単	女子単
優勝	名経大市邨	岡崎城西	村瀬・酒井(市邨)	酒井・岸本(市邨)	村瀬(市邨)	縣 (城西)
準優勝	岡崎城西	名経大市邨	片平・阿部(城西)	清田・塩飽(市邨)	中林(市邨)	清田(市邨)
3位	豊川	星城	夏目・竹林(市邨)	舟橋・佐藤(市邨)	青山(市邨)	舟橋(市邨)
4位	東海	豊川	太田・細川(市邨)	旧井・杉原(星城)	榊原(星城)	井本(城西)

男子優勝チーム はりーあっぷジュニア

若葉カップ愛知県予選会を勝ち抜いた！いや勝ち抜けたと言うところだろうか。6年生のいないチームに、私達スタッフが強いプレッシャーをかけ続けてきた。試合前日まで香川オープンに参加し、夕刻に高松を出発。未明に到着し、試合に臨んだ選手たちは、疲れもある中で戦い、ベンチと一体となって最高の結果を出してくれた。



このチームに感謝！長岡京では女子チームの分まで戦おう。(はりーあっぷジュニア代表 中口直人)

女子優勝チーム 師勝ジュニア

昨年の決勝での悔しい負けから1年。夢に見た7年ぶりの第1代表です。本当に嬉しい優勝でした。

決勝戦、6年生は、シングルスかダブルス、どちらかは必ず勝たなければならないというプレッシャーをものともせずに向かっていきました。

昨年の決勝の5年シングルスでファイナルゲームで負けてしまった中上未来選手ですが、今年は先陣の6年シングルスでしっかり借りを返しました。気持ちが強かったです。そして、頼もしいダブルスの溝上愛梨選手と唐欣宇選手。シングルス、ダブルスのどちらでも必ず1つは取れる5年生古舘菜々美選手。そして、なんとと言っても今年のチームの一番の強さは、5年生としても十分通用する、昨年ダブルス東海1位の4年生伊藤奈央加選手と岡本芽選手の活躍です。



こんなにメンバーが揃うことはめったにありません。このチャンスを生かし、暑い！熱い！京都の全国大会でメダルを目指して頑張ります。(師勝ジュニアコーチ 葛城祥江)

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎



日本バドミントン史上初となるオリンピックでの金メダル獲得というビッグニュースで日本中が沸き、県内においても第25回全国小学生選手権大会の男子団体戦で、本県の男子チームが見事全国優勝し、大きな喜びに包まれた平成28年度も終わり、本会は来るべき平成29年度を迎えるにあたり3月の総会時に役員改選を行い、心身ともに新しい気持ちで4月からの新年度がスタートしたところであります。

そこで、本年度も本会のさらなる発展のため、強化、指導、普及に関する事業目標を掲げさせていただきました。具体的な主な事業目標として、①強化事業面では愛知県を代表する選手であることの名誉と使命感が自覚できる強化策を進める②指導事業面ではジュニア指導にターゲットを絞り、地域ジュニア指導者の養成と拡大を進める③普及事業面では会員拡大、特に小学生、中学生の登録者数の拡大を進めることといたしました。事業目標達成のため会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、本年度愛知県内で開催されます大規模大会といたしましては、平成29年度東海総合選手権大会(9月9、10日：ウイングアリーナ刈谷)と第68回全日本学生選手権大会(10月20～28日：一宮市総合体育館)の2大会が予定されております。開催成功のために皆様のご協力を重ねてお願いいたします。



愛知県バドミントン協会総会開催

平成28年度愛知県バドミントン協会年次総会が、平成29年3月20日（月）愛知県スポーツ会館において125名の出席のもと開催された。総会開催の前に特別功労賞3名、功労賞10名、技能功労賞7名の表彰があり、賛助会より3名、2団体に対して奨励賞も渡された。総会報告事項は全体の事業報告に続き各専門委員会、各加盟団体の報告があり、協議事項では全体の事業計画および専門委員会の事業計画が提案され、決算・予算案と共に承認された。

平成29・30年度の役員改選にあたり、新役員が承認され、新体制が決まった。

平成28年度愛知県バドミントン協会表彰

■特別功労賞

池田 茂樹（愛知県バドミントン協会 監事）
佐藤 淑子（愛知県社会人クラブバドミントン連盟 理事）
二村 準（蒲郡バドミントン協会 副会長）

■功労賞

向坂 健二（愛知県バドミントン協会 理事）
水野恵以子（愛知県社会人クラブバドミントン連盟 理事）
小森 俊尚（岡崎バドミントン協会 理事）
国友 みつこ（岡崎バドミントン協会 理事）
小林 宏也（TOYOKAWAJr.B.C 指導者）
青木 伸也（愛知県実業団バドミントン連盟 理事）
飯島 治子（愛知県レディースバドミントン連盟 理事）
中島 新次（岡崎バドミントン協会 理事）
江本 勝夫（岡崎バドミントン協会 理事）
中口 直人（はりーあっぷジュニア 指導者）

■技能功労賞

加藤 千里（第33回全日本シニア選手権大会 40歳以上混合複 優勝）
磯貝謙太郎（第33回全日本シニア選手権大会 40歳以上混合複 優勝）
青山 伸幸（第33回全日本シニア選手権大会 65歳以上男子単 優勝）
愛 知 県（第34回全日本レディース選手権大会 都道府県対抗 優勝）
愛 知 県（日本スポーツマスターズ2016競技会 女子団体 優勝）
愛 知 県（第25回全国小学生選手権大会 男子団体 優勝）
山脇 弘奨（第17回全国小学生ABC大会 男子単Cグループ(1・2年生) 優勝）

■賛助会奨励賞

愛 知 県（第25回全国小学生選手権大会 男子団体 優勝）
山脇 弘奨（第17回全国小学生ABC大会 男子単Cグループ(1・2年生) 優勝）
T-Jump Jr（第32回若葉カップ全国小学生大会 女子団体 第3位）
岩野 滉也（第25回全国小学生選手権大会 男子単6年生以下 第3位）
（第17回全国小学生ABC大会 男子単Aグループ(5・6年生) 第3位）
富田万南斗（第25回全国小学生選手権大会 男子単6年生以下 第3位）

平成29年度愛知県バドミントン事業計画

- 1.愛知県代表選手であることの名誉と使命感が自覚できる強化策を構築し、国民体育大会での入賞と第1種大会でのメダルの獲得を目指す
- 2.地域ジュニア指導者の養成、拡大を図るとともに愛知県選抜ジュニア指導者チームを編成し、ジュニア選手の強化を推進する
- 3.会員登録の拡大を図る。とくに、中学生、小学生の登録者数の拡大に重点を置く（中学生登録者数目標1,200名、小学生登録者数目標 800名）
- 4.加盟市町村会議の充実と加盟拡大を図る
- 5.平成29年度東海総合選手権大会を円滑に開催する
- 6.第68回全日本学生選手権大会の円滑な開催を推進する



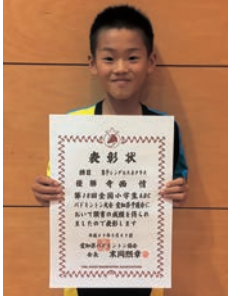
平成29・30年度愛知県バドミントン協会 役員

【名誉会長】 後藤 淳 【会長】 末岡 熙章
 【副会長】 上原 信彦 清水 善勝 大野 敏子 山本 卓男
 【顧問】 油井 秀男 小澤 靖彦 細野 節子 鈴木 正一 恵木 康行
 【参与】 平岩 友憲 清水 光夫 下込 貞司
 【理事長】 山田 順一郎
 【副理事長】 伊藤 一夫 佐藤 莊二(指導委員長) 朝倉 康善 井上 龍 渡邊 伸也(審判委員長)
 【常務理事】 山口 武満(総務委員長) 岩田 崇(広報委員長) 浅井 淳(競技委員長) 馬場 直樹(選手強化委員長)
 峰 登志郎 高桑 敏郎 山田 薫 原 賢一 向坂 健二 堀尾 恵美子 平出 文江 日詰 彰 則
 松島 貴胤 竹内 圭佑 柘植 裕之 永井 与志夫 林 拓磨
 【理事】 内田 公明 橋村 義春 関 輔 久原 寿之 伊藤 みゆき 磯部 美保 藤卷 裕昌 小栗 孝司
 佐藤 雅史 野瀬 泰弘 原口 和正 盛田 幸子 中谷 一貴 武田 正雄 尾関 靖 黒川 裕介
 【監事】 鈴木 勝美 池田 茂樹

(総務委員長 山口武満)

★愛知のホープ★

寺西 情 (T-Jump Jr.)



T-Jump Jr.のエース寺西 情選手を紹介します。平成29年5月27日、常滑市総合体育館で開催された全国小学生ABC大会愛知県予選会において、見事、男子Aクラスで優勝し、8月に北海道で行われる全国大会への切符を手に入れました。

寺西選手がバドミントンを始めるきっかけとなったのは、小学校1年生の時に日本ガイシホールで開催された全日本実業団のジェイテクトの試合を見に行ったことです。その後2年生になり、本格的に始めてから3ヶ月で全国小学生ABC大会愛知県予選会男子Cクラスで優勝し、初めての全国大会に出場。その2年後の4年生時のBクラスでも危なげなく優勝して2度目の全国大会出場。そして、今回3度目の全国小学生ABC大会への出場となります。

小さい頃は練習でも試合でもすぐ泣き出してしまう子でしたが、日々、体も心も成長し、6年生になった今、チームキャプテンとしてみんなを引っ張っていく姿に頼もしさを感じます。

チームの代表、愛知県の代表として、全国の舞台上堂々と悔いの残らないプレーをして欲しいと思っています。みなさん、応援ヨロシクお願いします！！ (T-Jump Jr.コーチ 河辺香里)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

修文女子高等学校バドミントン部

を紹介します。

本校のバドミントン部には50名の部員が所属しており、「よく走り よく跳び よく笑い よく食べる 修文女子」をモットーに、目の前の1勝を掴むために日々邁進しています。

本校は高校入学後にバドミントンを始める選手が9割以上のため、素振りや手投げのメニューを中心とした基礎基本練習を毎日コツコツと続けています。常に前向きに明るく元気よく、



一球一球に全力でプレーすることが勝利への近道だと信じ、思うようなプレーができない試合展開でも、絶対に最後まであきらめない粘り強さと精神力を育てています。また、ひとりの女性として周りの人々への感謝の気持ちを忘れることなく、挨拶や返事をしっかりとすることで、誰からも愛される選手になることを目指しています。バドミントンを心から楽しみ、卒業後も生涯スポーツとして続けてくれることが、顧問の何よりの望みでもあります。

今年度の総体では、尾張支部予選会において、学校対抗戦、シングルス、ダブルスのすべての種目で優勝し、なかでも、シングルスにおいては1位から3位までを独占しました。その勢いそのままチーム一丸となって愛知県大会に挑み、目標としていた学校対抗戦ベスト8になりました。この結果は、これまでチームを支えて下さった保護者の方々、卒業生の皆さんの大きな支援があってこそだと心から感謝しています。

過去には、尾張地区のチームが総体愛知県大会を制し、全国大会に出場した輝かしい実績もあります。その背中を見失うことなく、「チーム尾張」の一員としてもこれからも成長し続けていきたいと思っています。
(修文女子高等学校バドミントン部顧問 早川 里奈)

NEWS

指導委員会

1. 市町村連盟主催の講習会への指導者派遣
5月7日 蒲郡市
3年連続となる講習会で、ジュニアから一般まで47名が参加。
2. 中学生初心者・初級者への講習会及び中学生指導者育成のための講習会の開催
5月20日 刈谷市民体育館
中学生の初心者33名、指導者4名を対象とした講習会で、当委員会初の主催
3. 今後の予定
 - ・夏休み前後で高校生指導者を対象とした地区別講習会の開催
 - ・年2回、県外から著名なトップレベル指導者を招いての講習会の開催
 - ・4年に1回の指導員資格者を対象とした義務研修会の開催
 - ・日体協公認スポーツ指導者養成講習会（指導員）の開催

当講習会については今年度十数名の申し込みがあります。資格を持っていない方は是非資格を取り、日ごろの指導に役立てていただければと思います。

(指導委員長 佐藤荘二)

選手強化委員会

今年度から新たに4名が委員会メンバーに加わり活動がスタートしました。今年度は、4つの事業計画を基に強化活動を行っていきます。

1. 国民体育大会全種目出場と入賞を目指した強化
 - ・強化指定選手制度にて遠征(海外含)の実施と支援
 2. 全国大会でのメダル獲得を目指したジュニア選手の強化
 - ・特別強化指定選手・中高選抜選手の強化練習の実施
 3. アスリート事業の実施
 - ・スポーツ心理学・栄養講座の開催
 4. 競技力向上に向けた情報収集と活用
 - ・全国トップを狙うジュニア選手の強化法の検討
- 以上、愛知県代表選手に対しての強化策を構築し、1種大会でのメダル獲得を目指します。

平成29年度主な活動予定

日程	事業名	場所
7月23日	第1回オール愛知強化	新日鐵住金体育館
8月	スポーツ心理学講座	未定
9月2日	第2回オール愛知強化	豊田織機体育館
9月	スポーツ栄養講座	未定
12月10日	第3回オール愛知強化	愛知製鋼体育館
3月4日	第4回オール愛知強化	新日鐵住金体育館
1回/月	中学生選抜選手強化	トヨタスポーツセンター体育館

(選手強化委員長 馬場直樹)

連盟NEWS

中小学校体育連盟バドミントン部

◆第42回愛知県中学生バドミントン大会

平成29年4月29日(土)、30日(日)に大府市民体育館にて第42回愛知県中学生バドミントン大会が開催されました。7月から行われる中学校総体に向けた重要な大会となるため、各地区から多くの選手が出場し、持てる力を存分に発揮している様子が見られました。特に女子では秋の新人戦と同じ選手同士の対戦となり、秋にはそれぞれ惜しくも優勝を逃した女子単の久湊、女子複の中山・岩野組が優勝し、雪辱を果たす結果となりました。優勝選手はもちろん、他の選手たちも沢山の練習を重ねてきた成果が十分見られました。これから夏の総体に向けて一層練習に励み、全国の舞台で活躍することを期待します。

(石井久伸)

第42回愛知県中学生バドミントン大会 結果(優勝者)
 男子単 太田光哉
 (名古屋経済大学市邨中学校)
 女子単 久湊菜々
 (名古屋市立桜田中学校)
 男子複 河辺颯真・志賀伊吹
 (名古屋経済大学市邨中学校)
 女子複 中山うらら・岩野真陸
 (名古屋経済大学市邨中学校)

大府

JR大府駅西口徒歩8分

はいーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ
リーダーズグループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩2分

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

市町村だより

一宮バドミントン協会

◆一宮春季市民大会
 本大会が、3月12日（日）に一宮総合体育館にて開催されました。
 年に一度の混合ダブルスの大会です。
 参加人数218名。熱戦が繰り広げられました。

	優勝	準優勝	3位
1部	堀 裕貴 丹下 美樹	道家 大介 吉田 五月	高田 翔大 吉田 優香
2部	Aブロック 古田 圭三 吉田 千尋	久保 慶祐 松本恵理子	松永 浩治 松永 周子
	Bブロック 家垣 昂佑 中島 有稀	櫻井 裕樹 山岸 泉希	竹田 知志 川島久美子
3部	Aブロック 安田 智詞 加藤 香里	神谷 浩 柴井 絢子	福島 博文 辻 亜矢子
	Bブロック 鷺見 文孝 佐藤 好	高井 利宗 武山 佳代	丹羽 柚凱 杉山 靖子
シニア	渡部 義弘 藤原 直美	高橋 康幸 水野 才子	祖父江正昭 堀 美幸

◆第18回 一宮尾西レディースバドミントン大会
 3月6日（月）、参加者234名、いちい信金アリーナBにて開催されました。
 1部優勝者、岩田さんは「納得いく試合ができるように精進していきたい。」また、丹下さんは「去年に引き続き優勝できて嬉しかった。」と喜んでいました。

	優勝	準優勝
1部	岩田 恭子 丹下 美樹	一宮 三木 恵美 井川 香織
2部	樋口 弘子 亀井 ルミ	岐阜 池辺美由紀 藤井亜希子
3部	小椋志津子 足立美貴子	一宮 北川 有里 高橋 郁子
4部	戸川美奈子 室橋 夏美	稲沢 三澤 川合 友美
5部	武田 貴子 水野麻希子	江南 沢田 裕子 石原 房巳

蒲郡バドミントン協会

当協会の新年度最初の行事は、市民への普及を目的とした「バドミンのつどい」です。今年は県協会から藤巻・山崎両コーチをお招きし、5月7日（日）に開催しました。
 小学生からシニアまで総勢44名の、キャリアも実力も様々なプレーヤーが参加し、みんなでバドミントンを楽しみました。コーチには、ヒッティング技術やドライブなどの基本を分かりやすい言葉と見事な実演でご指導いただきました。ドリブンクリアではコーチの打球に受講者が隣のコートまで飛ばされるほどの力強さで、大人も子供もビックリ！ 質問タイムも丁寧に対応していただき、バドミンの楽しさ・奥深さを広く市民に伝えることができたイベントとなりました。

豊田市バドミントン協会

◆第33回 豊田市民総合バドミントン大会
 平成29年4月30日 スカイホール豊田
 男子 37チーム 174名 女子 14チーム 68名



男子1部 優勝 愛知FBC(A)
 メンバー:青山・神戸・藤川・長坂



女子1部 優勝 ウッドマックス
 メンバー:永田・藤野・松原・小出・三原

◆第6回 市民バドミントンジュニア大会
 平成29年3月12日 地域文化広場

優勝	男子6年生 ダブルス	田中・大橋
	女子6年生・男子5年生 ダブルス	白井・鈴木
	女子4年生 ダブルス	原田・岡島
	男女1～3年生 ダブルス	鈴木・安藤
	男子6年生 シングルス	田中
	男子4・5年生 シングルス	白井
	女子5・6年生 シングルス	吉本
女子4年生 シングルス	原田	
男子・女子1～3年生 シングルス	岡島	

勝つための本物

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7115 FAX.06-6538-8238

西三河のバドミントン専門店

モリタ球マ

豊田市山之手3丁目100番地
 ☎ <0565> 29-0055

知多市体育協会バドミントン連盟

◆第85回 知多市民バドミントン大会開催

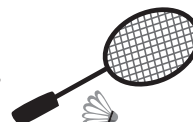
平成29年5月28日（日）知多市民体育館にて、一般男女ダブルス6種目と小学生学年別ダブルス3種目を行いました。

		優勝		準優勝		3位				
男子 ダブルス	1部	浅沼 晴登 加島 慎也	ビオーネ	浅井 貴大 井上 智晴	つつじ	北田 快斗 鵜坂 竜一	常・江			
	2部	高木 隆哉 喜多 晃弘	マスカット	工藤 邦晶 甲木 亮典	佐布里	相馬 秀紀 田中 崇悟	つつじ			
	3部	森山 勝弘 梅林 正行	トムスクラブ							
女子 ダブルス	1部	犬飼 広子 矢野千恵子	新田クラブ							
	2部	三浦久美子 藤森 美咲	マスカット	山田かねみ 近藤 生枝	旭桃ステップ	三ツ石るみ子 伊藤 敏恵	新田クラブ			
	3部	矢代 亜依 田中真利子	ペアーズ	増永 里恵 深川みゆき	旭桃ステップ					
小学生 ダブルス	6年	松久保芽衣 山本 有桜	知多 Jr.	川内 遥奈 山内 めい	知多 Jr.	市来 沙良 伊藤千代里	八幡	河村 夢来 柿田 麗		新知
	5年	古川 杏奈 白沢 紅映	知多 Jr.	服部 憲信 森井 遙也	八幡	鏗田 悠愛 深尾明日香	八幡	近藤 ゆり 松田 茉緒		知多 Jr.
	4年	賢生 悠介 大西 脩斗	知多 Jr.	牟田 夏澄 江野本愛実	旭北					

審判連載

「記憶に残る審判経験」

水野 慶介



今回は私の審判経験の中から、記憶に残る印象的なことを紹介します。

競技規則第14条第2項（7）で、「いかなる不測の事態や突発的な事故が起きたとき」はレットである、とあります。過去に2度、これに該当するケースに遭遇しました。

1回目は、会場の空調設備からボヤが発生し、煙が会場中に蔓延したことがありました。その後、状況が回復しましたが、試合再開までかなりの時間を要しました。2回目は、停電により競技場内が真っ暗になってしまったことです。その原因は近くの変電所のトラブルだったらしく、照明が点いてもたびたび停電しました。どちらも一瞬ビックリしましたが、競技規則に従い、冷静に「レット」をかけ、その状況をスコアシートに記入しました。非常に珍しいことだと思いますが、このようなことを経験すると、その後はちょっとやそっとの事では驚かなくなりました。

皆さんもいろんな事を事前に想定しておけば慌てることなく、コールや記録などの対応も冷静に行なえると思います。

編集後記

卓球が、世界選手権での日本人選手の活躍（特に16歳トリオの）で脚光を浴びています。バドミントンも桃田選手の復帰も契機にしながら再び金メダル獲得へ邁進して欲しいものです。夏の体育館での試合は暑く苦しいですが、それを乗り切った時の充実感、開放感、達成感は何ものにも代えられません。さあ、今日も頑張ろう！！（天竺良彦）

連絡 投稿

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領 1-9-9
広報委員長 岩田 崇
TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス
<http://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ

NONAKA

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。